

西部蕎麦連”ソバ栽培体験学習”栽培スケジュール

畑の準備

畑の準備です。耕耘し、元肥を入れて整地します。主催者が実施します。

場所 狭山市北入曾
面積 500㎡
施肥 鶏糞
牡蠣殻石灰

袋袋

ソバの元肥(10a当り)

N 2 kg
P 3 kg
K 4 kg



たねまき

令和2年8月22日(土)

参加者全員で蕎麦まき体験！！

- ・種子の量 3 kg
- ・畝間 0.6 m
- ・畝長さ 20 m
- ・畝数 42 本
 - ① 鍬で溝切、手播き 3 畝
※幅0.1m深さ0.1m
 - ② 播種機ごんべさん 27 畝
 - ③ 管理機で溝ほり、手播 12 畝

播種量、10a当り5kg

- ・理想的な茎数は、1㎡当り100本と言われている。
- ・10aで10万本。
- ・千粒重は、34kg
- ・苗立ち割合7割
- ・重さにすれば、4850g。5kgとなる。

播種後4、5日で発芽

発芽確認

令和2年9月5日(土)

発芽状況を確認後、けやき工房で、そば打ちイベント
(参加自由。別途参加費あり)



中耕・培土

雑草を抑えて、倒伏防止。主催者が実施します。

- ・草丈15cm位の時に行う。
- ・蕎麦は、アレロパシー(他感作用)があつて、他の草が生えにくい。

そばの花鑑賞会

令和2年10月10日(土)

蕎麦の花の鑑賞後、けやき工房でそば打ち及び蕎麦料理イベント
(参加自由。別途参加費あり)

- ・蕎麦の花は、30～35日で開花し、その後2週間くらいで花盛りを迎える。
- ・朝5～6時ごろから咲き始め9時にはほとんど咲きそろう。夜はとじている。
- ・蕎麦は虫媒花。ミツバチが受粉の手伝いをします。ミツバチ活動は、もつぱら晴天下の午前中です。
- ・蕎麦の花には、長柱花と短柱花があつて、長柱花の花粉は短柱花の雌しべに、短柱花の花粉は長柱花の雌しべに、それぞれ運ばれてはじめて受精する。

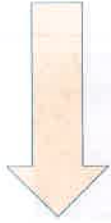


村夜 白居易

霜草蒼蒼蟲切切
村南村北行人絶
独出門前望野田
月明蕎麦花如雪

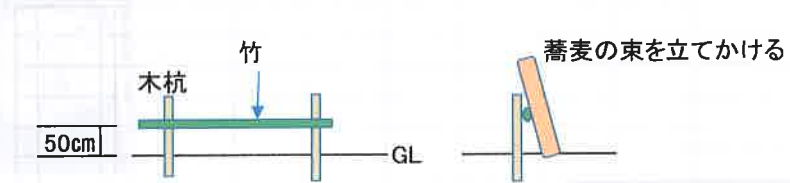
収穫作業

令和2年11月7日
(土)8日(日)どちら
か。



蕎麦の刈り取りとはぜかけ作業を行います。

- ・「そばは75日」と言われ、種まきから収穫までの日数が少ない。
- ・手打ち用として、色や香りを楽しむには、65日の早刈りもある。
- ・手刈りの時は、黒化率3割が一般的。刈るのは午前中の湿度の高い時が良い。
- ・鎌で刈り取り、小束にしてはぜかけする。島立て方法もある。
- ・7～10日乾燥する。



脱穀

令和2年11月14日
(土)15日(日)どちら
か。



コンバインの脱穀を見学しますが、参加者の手作業での脱穀も予定。

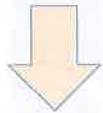
- ・含水率16%前後で脱穀します。
- ・コンバインの脱穀作業の見学。
- ・叩き台と叩き棒やくるり棒、背負い籠での脱穀も体験する。



天日干し

含水率を調整します。主催者が実施します。

- ・含水率16%程度になるよう注意します。



調整

脱穀が終わった蕎麦から、蕎麦の茎、花の残骸、土、小石などを除去。主催者が実施します。

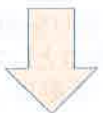
- ・唐箕かけ。
- ・みがきと石抜き。



製粉

製粉前の調整作業です。主催者が実施します。

- ・石臼で製粉します。
- ・袋詰め。真空にして、窒素充填。



試食会

12月

けやき工房にて、新蕎麦による”そば打ち大会”

- ・全員で蕎麦うち、そして試食です。
- ・入管産の薬味もよういします。
- ・収穫量にもよるが、持ち帰りの蕎麦粉も用意。

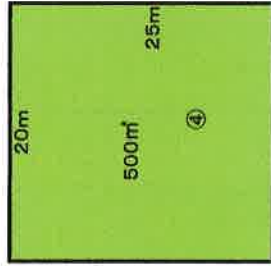
◆参考資料

常陸秋そば 浪川寛治著 茨城新聞社
ソバ、そば、蕎麦を極める野上公雄著 茨城新聞社

令和2年度ソバ栽培体験事業

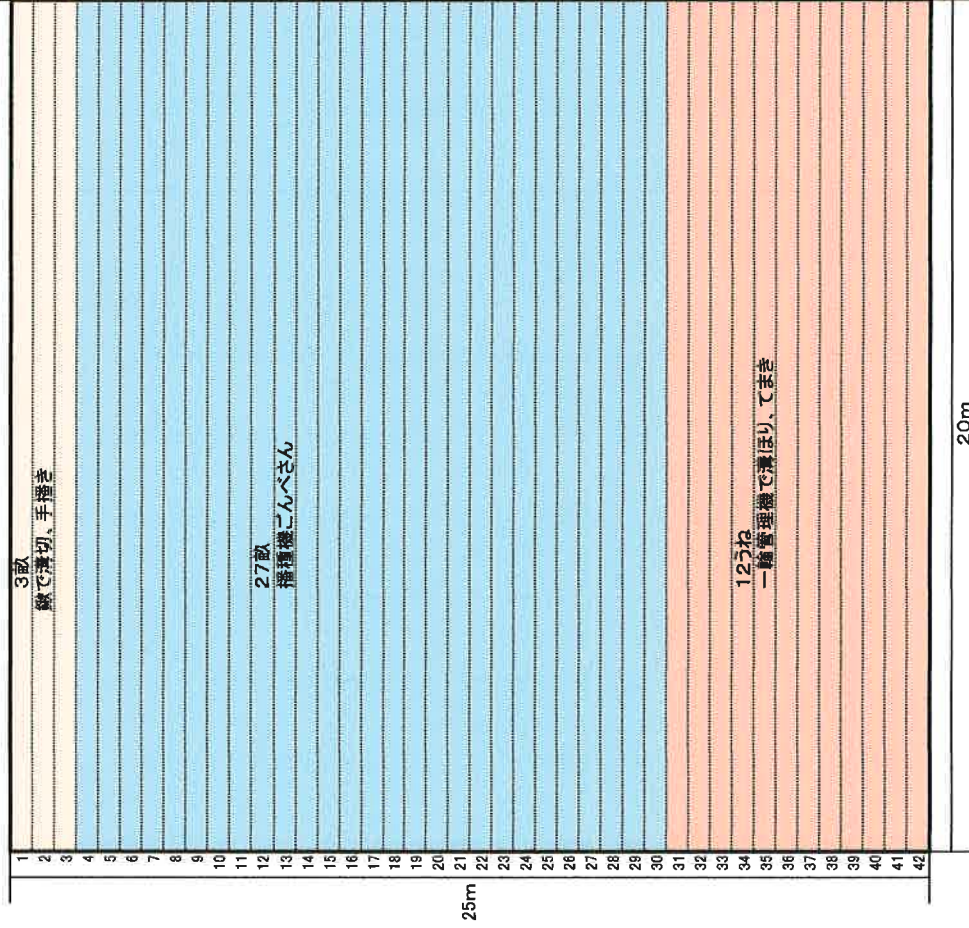
畝たて計画図

ぶどう園



□ 約0.6 × 0.6m

畝間 60cm
延長 25m
畝数 41本



畑

通路

公道